

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県朝日少年自然の家	指定管理者	株式会社ヤマコー
所在地	西村山郡大江町大字左沢字楯山2523-5	県担当課	教育局生涯教育・学習振興課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	(電話番号)	(023-630-3343)
検証期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
------	--------------	------------------

1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況

① 管理・運営業務の履行状況	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理制度3期目2年目となる今年度は、県職員の方々の協力・連携をさらに強化し、施設の維持管理、受入支援及び企画・自主事業の実施に取り組みました。利用状況としては、例年のない雪不足によりスノーチューブ滑りが実質的に実施不可能であったことから、利用団体数は449団体（前年比83.1%）、実利用者数は12,666名（前年比92.5%）と前年を下回りました。しかし、延べ利用者数は5月に新型コロナウイルスが5類に移行されたことによる利用制限の大幅な緩和により、16,422名（前年比102.9%）と前年を上回りました。 広報活動では、事業要項を近隣市町の全小学生に配布しました。また、専用ホームページ、インスタグラム、県のフェイスブック、県報や市町報、新聞にも企画事業等の要項を掲載し、広く県民の皆様に対する周知に努めました。 企画事業の親子キャンプでは、今話題のSUP（スタンドアップパドルボード）体験や雪板遊びを取り入れた活動内容としたことから募集定員を超える参加申込みがありました。 県及び指定管理者の運営並びに調整会議の定例化（週1回）を継続し、スムーズな施設管理・事業運営に取り組みました。 利用者の安全・安心を確保するため野外遊具の安全点検及び修繕、大型バスの修繕、消防設備修繕等を行いました。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理運営について、包括協定の仕様書に基づき、適切に行われている。 県と指定管理者の定期的な調整会議の開催等により、連携・協力体制における施設運営がなされている。 指定管理者のノウハウを活かした各種事業や広報活動を展開している。 設備の安全点検及び修繕等を行い、利用者が安全・安心に利用できる施設の維持管理に努めている。
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化が進んでおり、体育館の壁面、暖房設備、体育館屋根の塗り替え、浴室天井の張替え、野外遊具の改修等、利用者の安全確保に係る修繕計画を作成していく必要があります。 	<p>《課題等の原因分析》</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設設備の老朽化が進み、要修繕箇所が増加している。 設備の部品供給の終了により、修繕不可の設備もあり、設備の更新・修繕等について検討を要する。
課題、問題点への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に対しては、利用者の安全確保を第一とし、引き続き、県と指定管理者で協議しながら、適切に必要な修繕を実施していく。 	

2 利用者からの要望等への対応

① 意見・要望等及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 幼児や小学校低学年向けの食事メニューの要望があるため、食事メニューの細分化を行いました。 利用者のニーズに応え、家族向け日帰りキャンプの企画事業（令和6年度実施予定）を開発しました。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者からの意見・要望を把握し、利用者の安全性を考慮しながら、可能な範囲で速やかによりよく改善を図っている。 利用者のニーズに応じた事業を実施し、高い満足度を維持している。
意見・要望等への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して利用者アンケート等を実施し、利用者の意見・要望の把握に努めていきたい。 把握した利用者ニーズについては、可能な限り事業実施や施設運営に反映し、利用者の満足度向上に努めていきたい。 	

3 指定管理者制度活用の効果

① サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のアンケート等も参考にし、企画事業11事業を実施。雪不足の影響により、1企画事業の中止を余儀なくされましたが、いずれの事業も申込締切りを待たずに定員になる企画が多く、今後もお客様のニーズに応えられるよう努めてまいります。 生涯学習の拠点施設を目指し、活動の紹介と2つの新規講座を盛り込んだ広告チラシを村山地域全域（一部の地域を除く）に新聞折込みし、9講座を開講。各講座月1～2回開催いたしました。また、新たな自主事業として「かまどDEピザ」と題し、ピザづくりとネーチャートートバッグ作り体験を家族で楽しんでいただく事業を企画し、43名より参加をいただきました。 利用者サービスの向上として、野外遊具修繕、テントサイト木製パレット修繕、構内通路舗装修繕等を行いました。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員のきめ細やかで丁寧な対応により、職員の対応への満足度は、「満足」が約95%と非常に高い評価を得ている。 幅広い年齢層を対象とした魅力的な企画事業を実施し、利用者から好評を得ている。 利用者からの要望に対し、速やかに改善を図るなど、利用者サービスの向上に努めている。
② 経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> 管内教育委員会への事業等チラシ配布については直接持込とし、また所内資料の裏紙利用の徹底を図り、事務費節減に努めました。 利用状況に応じた人員配置により、人件費節減に努めました。 適宜、照明・ボイラーの入切を行い、光熱費節減に努めました。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた経費の中で、これまでのノウハウを活かし、繁閑に応じた人員配置の調整や適切な経費の節減に努めている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<ul style="list-style-type: none"> 大江町「おおえの星空係」の皆様から、プラネタリウム一般公開の際、望遠鏡の使い方や銀河について解説していただきました。また、大江町で活動している楽団所属の方々から管四重奏による生演奏をしていただきました。 「月山志津野野場管理組合」と連携し、年2回ブナ森を探索する企画事業を実施いたしました。 「月山湖管理組合」並びに「大江カヌー愛好会」と連携し、年2回ブナ森を探索する企画事業を実施いたしました。 企画事業「クリスマスリースと門松づくり」に対し、地元左沢高校のボランティアよりご協力をいただきました。 企画事業「ヤマガタダイカイギユウと化石掘り」では、県立博物館、大江町用地区、朝日町能中地区、寒河江市白岩上野地区よりご協力をいただきました。 	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と密に連携した事業を多く展開しているほか、地元学生ボランティアとの連携により更なる地域の活性化に貢献している。

総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> 県と指定管理者の連携・協力体制やこれまでの経験に基づき適切で安定的な施設運営が行われている。 幅広い年齢層を対象とした魅力的な事業の実施により、利用者の拡大につながっている。 開所から50年目を迎え、施設設備の老朽化が進み不具合が増加する中、日常の安全点検や速やかな修繕等により、利用者の安全の確保及び利便性の向上に努めている。 引き続き、利用者を第一としたサービスの提供に努め、工夫を凝らした運営に期待したい。
--------	---

【評価指標】

- A：仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B：概ね適正に実施されている。
 C：部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D：仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。